



いつもユネクスEFをご使用頂き誠に有難うございます。
FMD News Vol. 7をお届けいたします。

facebook



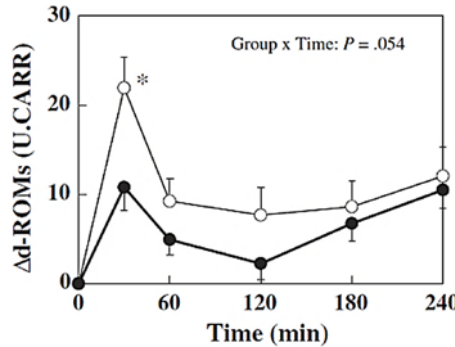
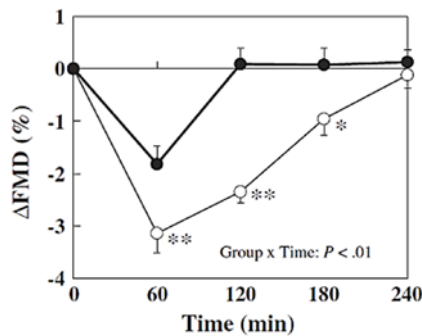
5月のTOPICS

- コーヒーポリフェノールの摂取は食後高血糖と血管内皮機能を改善する。
- 5月学会展示のご案内

■ コーヒーポリフェノールの摂取は食後高血糖と血管内皮機能を改善する

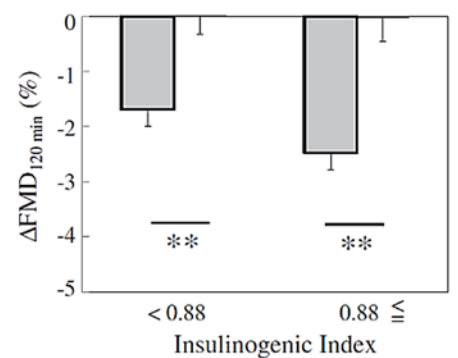
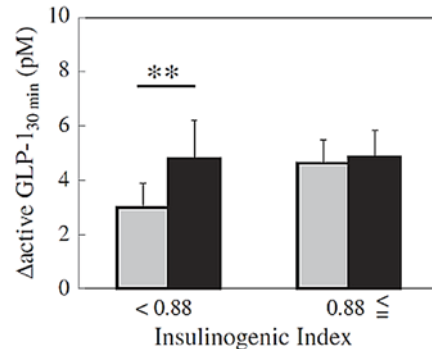
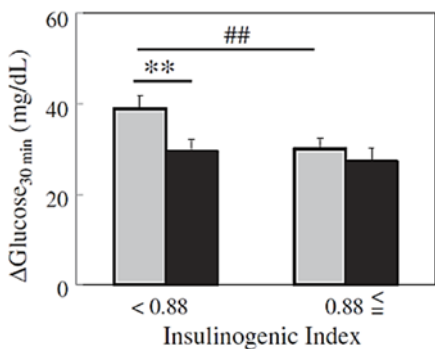
現在までの研究で習慣的なコーヒーの飲用は糖尿病や心血管疾患のリスクを減少するという報告があります。また、食後高血糖は心血管疾患の独立危険因子であることが知られています。筆者らはコーヒーポリフェノール摂取が抗糖尿病や抗心血管疾患の作用を示すグルカゴン様ペプチド1 (GLP-1) の分泌を増加することを証明しましたが、本研究では、コーヒーポリフェノール摂取はGLP-1の増加や酸化ストレスの低下により食後高血糖と血管内皮機能を改善することを検証しました。健常な成人男性19名を対象とし、食後にプラセボ或いはコーヒーポリフェノール抽出物 (CPE) を摂取し、その後、血液指標やFMDを計測しました。その結果、CPE摂取群はプラセボに比べ、食後の血中グルコース及びダイヤクロン反応性酸素代謝産物 (ROMs) の増加を有意に抑制し、食後のFMDを有意に改善しました。また、インスリン分泌指数が低い対象者において、CPE摂取は有意に食後の血中GLP-1を増加し、グルコースを減少しました。これらの結果から、コーヒーポリフェノール摂取はGLP-1分泌の増加や酸化ストレスの低下を通して、食後高血糖と血管内皮機能を改善することが示唆されました。

文献情報: Nutr Res. 2015 Oct;35(10):873-81.



○: placebo
●: CPE

Gray bars: placebo
Closed bars: CPE



■ 5月学会展示のご案内

第 59 回日本糖尿病学会年次学術集会
機器展示

日時: 5月19日(木)~21日(土)
会場: 京都国際会館 地下1階 宝ヶ池 - 展示会場 2